



## 「協働部活プロジェクト - 環境学習」

### (良い点)

- ・ 環境学習というテーマは広がりがあって協働にはふさわしい。(テーマ設定がよい)
- ・ 3グループに分かれての取り組み方法はよい。

### (課題・改善点)

- ・ 部活終了後、次のステップが不明確である。
- ・ 具体的な目標とゴールの設定が不明確である。
- ・ PRが不足しており、プロセスを公開して広く議論を求めるべきである。
- ・ 他のNPOなど他との連携が不十分である。
- ・ 公募行政職員の活動時間が保障されていない。(県の組織的な対応が不十分)
- ・ 環境と防災のつながりが分かりづらい。

## 「協働部活プロジェクト - フードウッドマイレージの低減」

### (良い点)

- ・ 目標が明確
- ・ PR方法が多様でおもしろい(環境ビジネスメッセ出展、販売実験等)

### (改善点)

- ・ マイレージ指標を使うことにより県民にメリットのある仕組みが必要ではないか。
- ・ CO<sub>2</sub>削減と県内流通促進という2つの目的があって中途半端ではないか。
- ・ 成果の可視化が必要である。
- ・ 次へのステップが不明確である。
- ・ フードは県民に分かりやすい品目で設定したほうがよかったのではないか。
- ・ 企業など他との連携が不十分である。(生協、グリーン購入ネットワーク等)
- ・ 地域は滋賀県内だけでよいか。
- ・ NPOと行政の役割分担が分かりにくい。

---

### ● 共通的な課題

- ・ 他の主体(NPO、企業等)との協働が必要
- ・ 県として公募行政職員の確保が必要
- ・ 次へのステップが不明確であり「仕組み化」が必要
- ・ PR、プロセスの公開がもっと必要
- ・ 具体的な目標、ゴールの設定が必要。
- ・ 協働できる、できないを含め双方の認識の共有化が必要
- ・ 協働に対する理解を双方が深める必要